

好きです

和泉中

11月号

和泉市立和泉中学校
〒594-0023
和泉市白犬町1-2-1
Tel0725410094
Fax0725467596

教育目標
「努力」
「誠実」
「自律」

めざす生徒像
○たくましく
健やかな生徒
○美しい
心の生徒
○たゆみなく
学ぶ生徒

「秋、深まる」

校長 原田 尚史

十一月に入ろうとするころから、朝晩が、「冷たく感じる人が多くなっているのではないだろうか。通学する生徒にも、ブレザーを着用する姿が増え始めています。季節というのは、静かにやってきて、静かに過ぎ去っていくのですね。そんな中、朝起きるのがつらく感じている人も多くいるかもしれません。ちょうど、学校で言うと半分が過ぎ、後半戦の開始です。有名な川柳に「実るほど 頭をたれる 稲穂かな」というものがありますが、近くの田んぼや柿の実を見るたびに、思い出します。クラスや学年の様子も、「秋に実る」かのようにいよいよ実ってきていることと思っています。

さて、そろそろ年末が近づいてきていますが、何かとせわしなく、忙しくしている人も多いのではないのでしょうか。「締切りが…」といった感じで、時間に追われることも多くなる時期なのかもしれません。でも、焦るほど、いい考えが浮かばない、という経験はないですか。散歩していたり、お風呂に入っていたりしたときの方が、いいアイデアがうかんだり、という経験はないですか。これが科学的に説明されているようです。「ひらめき」というのが、どんな時に起こるのかを人体実験したようです。もちろん、「考える」という行為ですから、「脳」の様子を調べます。シワシワの脳の内部は「シナプス」という配線ケーブルのようなものでつながっている

11月行事予定

日	曜	給食	学校行事等
1	火	○	合唱コンクール
2	水	○	第二回進路保護者説明会
3	木	×	文化の日
4	金	○	
5	土	×	若つど(和泉中央駅アムゼ広場)
6	日	×	
7	月	○	連合音楽会
8	火	○	生徒会任命式
9	水	○	
10	木	○	SC
11	金	○	
12	土	×	子ども絵画展・三市一町中学生のメッセージ
13	日	×	子ども絵画展・市PTA研究大会
14	月	○	委員会(放課後)
15	火	○	
16	水	○	地域つながり活動(PM7時)
17	木	○	SC
18	金	○	公開授業(5時間授業)
19	土	×	
20	日	×	
21	月	○	第三回実力テスト(3年)
22	火	○	5時間授業
23	水	×	勤労感謝の日
24	木	○	SC
25	金	○	
26	土	×	
27	日	×	
28	月	×	期末テスト
29	火	×	期末テスト
30	水	×	期末テスト 地域清掃

※SC…スクールカウンセラー来校日

新型コロナウイルスの状況で変更する場合があります。

。そんな脳の内部で、人が何かを「ひらめいた」時に広い範囲でシナプスという神経細胞が活発に動いていることが分かったそうです。どういとき、にそのような状態になったか。「それはボーッとしている時」だったそうです。「ボーッとしている」時というのは、シナプスがじわじわと脳の広い範囲で活動を広げ、バラバラに散っていた無数の「記憶の断片」がつながり始めた時に、「ひらめく」状態がうまれやすくなるようです。

あるテレビ番組で「ボーッと生きてんじゃねーよ」と叱られていますが、何かを考えるときは、「ボーッと」というのも大切なかもしれません。「秋の夜長」といいますが、翌日何も無い時は、少し、ゆっくりした時間をとり、何も考えない「無の状態」をつくってみては、どうでしょう。

後期生徒会役員 決定!

- 会長 阪本(2-2)
副会長 島(2-3)
下原(2-6)
役員 米田(2-3)
奥谷(1-2)
大越(1-2)
荒木(1-6)
川本(1-6)
角野(1-8)

前期本部役員の皆さんに引き続き、本部役員の皆さんを中心に、各種委員会活動を充実させ、和泉中学校生全員の協力のもと、居心地の良い、活力あふれる学校にしましょう。

期末テスト時間割

2学期 期末 テスト	11月28日			11月29日			11月30日		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
1	理科	社会	数学	技家	国語	社会	数学	英語	理科
2	国語	理科	音美	英語	数学	技家	社会	音美	英語
3	美術		国語	音楽	保体	保体			

赤い羽根募金のお礼

10月19日・20日に行いましたボランティアグループ(さぼら=さりげなくボランティア)が中心になった募金活動で下記の金額が集まりました。活動にご協力をいただいた皆さんにお礼申し上げます。ありがとうございました。

募金総額

4,515円



第66回大阪府小中学校科学展

大阪府教育センターにて開催された標記科学展において、和泉市より代表で選出された作品が、入賞しました。
堺市教育委員会賞
和泉市立和泉中学校 2年 西さん
「身近に潜む水路の危険」

みんなの意見体験作文発表会

10月18日和泉市立幸小学校で開催され、本校を代表して、河田さんが参加しました。タイトルは「渡る世間に鬼はなし」です。発表内容は、裏面に記載しています

「渡る世間に鬼はなし」

河田

「渡る世間に鬼はなし」とは、世の中には無情な人ばかりがいるのではなく、困ったときには助けてくれる情け深い人もいるのだという意味のことわざである。礼儀と作法を重視した和の精神を表す素晴らしい言葉である。私はこの夏休み何度もこの言葉が頭に浮かんだ。それはある出来事がきっかけだった。

七月末、ようやく夏休みに入り、私は絵にかいたかのように浮かれていた。その日は、いつも通りすごく暑かった。塾の夏期講習もなく、部活も引退していたため、午前中はダラダラ過ごしていた。だが、せっかくの休みに何もしないのは少しもったいない気がして、私は一人でお菓子を買いに出かけた。行き先は、普段はあまりに行くことのない少し遠いスーパー。自転車で行こうと思ったが、たまたまタイヤの空気が減っていたので歩くことにした。家から500mほど歩いたとき、どこからか人の声があった。振り返ったが人影は見当たらない。

少し怖がりながら周りをよく探すと、なんと声は下の方から聞こえていることが分かった。深い溝に一人の女性のはまっていたのであった。その女性は私に向かって、「ちよっとお姉ちゃん。落ちてしまったの。助けて。」と言っていた。私はいてもたってもいられず、すぐさまかけよった。七十代くらいに見えるその女性は、私より身長が低く、溝から出ていたのは、肩より上だけであった。おまけに背中には、ビチャビチャ。おそらく女性、私が来るまでの間で溝の中で転んで

しまい、その中を流れる水につかっってしまったのだろう。水は女性の足首がつかるくらい深い深さだった。流れもはやく、また、いつ女性が転んでもおかしくない状況だった。私は冷や汗が止まらなかった。

一刻でもはやく溝から出してあげたいと思い、女性に手を伸ばした。私の手を掴んだ女性の手はとても冷たくて、震えていた。私がお手を強引に引っ張ると彼女が痛い思いをすることは間違いないと考え、だっこをするように持ち上げたが、溝から上げることはできなかった。消防を呼ぶといった案が思い浮かばないほど私の頭の中が真っ白だった。周りに他の人がいないかと必死に探した。

その時だった。一台の車が目の前に停まった。そして、中から四十代くらいの女性が降りてきて、私たちに向かって、「大丈夫ですか」と声をかけてくださった。そして、車からプラスチック製の箱を取り出して、「この箱は流れてもいいので、この箱を土台にしてください。」と溝にはまっている女性に渡した。そのお陰で、女性はようやく溝から出ることができた。安心感と感動が私の心を包み込んだ。

その日以来、二人に会うことはなかったが、溝の前を通るといつもあの日のことを思い出してしまう。見知らぬ人を自分の持ち物を犠牲にしてまで助けようとしてくれた優しい方。何もしてあげられなかった私にも心の底から感謝をしてくださった方。あの二人のような大人に私はなりた

い。

近年、日本では近所付き合いの希薄化

が指摘されている。その理由は、世帯の経済的自立、農家が減ったことによる農作業等の共同作業機会の減少、生活時間の相違など様々である。しかし、私は、同世代や異世代の多くの人々との交流は、非常に意味のある行為だと思う。近所付き合いは人と人との関わりを増やし、街全体を明るくする。私たちは、近所付き合いを増やしていくために誰に対しても、どんな時でも、親切心を忘れないことが大切だ。私があの日出会った二人は、それを気づかせてくれた。素敵な大人で溢れるこの地域には「鬼はなし」であると感じた夏休みであった。